

事業名称	浜田国際交流アートプロジェクト		
実行委員会	浜田市世界こども美術館創造活動支援事業実行委員会		
中核館	浜田市世界こども美術館		
	住所	〒697-0016 島根県浜田市野原町 859-1	
	TEL	0855-23-8451	FAX 0855-23-8452
	ホームページ	http://www.hamada-kodomo-art.com/	
構成団体	浜田市役所、浜田市立雲雀丘小学校、認定こども園 日脚保育園、浜田市立原井幼稚園		
事業開始時点の課題分析	<p>全国的に出生数の減少傾向が続いており、総人口も減少する中、とりわけ浜田市での人口減少は著しく、地域活力の低下が生じ、地域の活性化が求められている現状がある。未来の社会を担う中心である子ども達が、地元・浜田市に愛着と誇りを持ち生活していくことがより一層重要な課題となっている。特に社会教育施設である浜田市世界こども美術館の担う役割は大きく、子どもの心を育てるプログラムを創出し、当館を柱にしながら、家庭・地域・行政が一体となった新しい地域再生プログラムを展開することで、子ども達が様々な世代・国籍・職種の人々と触れ合いコミュニケーション力を伸ばしながら成長していくことに尽力することが求められている。</p> <p>浜田市世界こども美術館は、「浜田」で、「子ども」と「アート」をつなぐ、「子ども」と「世界」をつなぐ施設として機能することが使命である。「浜田」という地方都市で「世界」で活躍する人々とともに「アート」を介したユニークなプログラムを実施する。そして地域の魅力を再発見しながら「子ども達」に様々な刺激を与えることが当館に課せられた課題といえる。</p>		
事業目的	<p>浜田市世界こども美術館の設置目的は、「子どもの創造力の育成」「世代間交流」「海外との文化交流」という3つの視点から構成されている。現状の課題解決のために、この3つの視点を融合させた創造的なアート交流プロジェクトを通年にわたり実施し、当館が浜田市におけるグローバル化の拠点として位置付けられるような成長を目指すことを目的とする。</p> <p>世界各国の児童美術教育に力を入れている施設から指導者を招き、ワークショップを実施する。言葉の壁を越えた生きた国際交流活動を展開することで、子どもの心を刺激させ、地域住民のコミュニケーション力の向上を目指すとともに、異文化理解と異文化交流の促進を目指す。また国内外で活躍する日本人アーティストのワークショップを開催。芸術家の息遣いを間近で感じ、表現することの大切さや物事をみる視点の面白さを体感できるような機会を設定することで、とかく閉鎖的な地域に新鮮な風を送り込むことを目指す。その他、シンポジウムの開催やワークショップで出来上がった作品を紹介するワークショップ作品展など教育機関や行政と連携し実施することで、グローバルな視点を持ちながら地域に密着した事業展開を行うことのできる美術館を目指す。</p>		
事業概要	<p>地域のグローバル化拠点として機能するよう、学校教育等と連携しながら3つの事業を実施した。</p> <p>①ワークショップの開催 建築美術館フラックセンター（フランス）・メキシコ自然史博物館（メキシコ）・ズームこども博物館（オーストリア）・スラドプナ・ピーセクこども博物館（チェコ）より指導者を招き、国際交流ワークショップを実施。また国内外で広く活躍中の日本人アーティストによる様々な素材を用いたワークショップの実施。加えて当館学芸スタッフが保育園や幼稚園に出張して行う地域密着型の出張ワークショップの開催。バラエティ豊かな内容の活動を浜田市内で年間を通して実施した。</p> <p>②国際ミニシンポジウムの開催 フランス・メキシコ・オーストリア・ドイツの子どもを対象とした活動を積極的に行っている施設の代表者による「子どもを対象としたアート活動の展開について」協議の場を設定。展望や課題等について意見を交わしあい、世界に発信することのできる美術館活動について話し合った。</p> <p>③「ワークショップ作品展」の開催 ①の各活動で生まれた作品群を展示発表した。本プロジェクトの取り組みを紹介するとともに、子ども達の表現の可能性と魅力、創出した造形活動を紹介した。</p>		
実施項目 ・ 実施体系	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークバリューの促進</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用手法の開発</p>		
実施後の成果・効果等	<p>国際交流ワークショップ・アーティストワークショップ・学芸員によるアウトリーチワークショップ参加者の合計は1,574人を数えた。この数は浜田市内の年少児～小学生の人口比に対して42%の参加率であり、10人がワークショップに参加した計算となる。これほど高い参加率となったことは、本事業が地域住民に魅力的な事業として位置付けられた成果である。</p> <p>参加者からは「子どもの創造力・発想力、改めてすごいと思いました。楽しそうに熱中して、あれこれ考える姿は見ていて嬉しかったし、親も夢中になりました。」「子どもの想像力に完敗です」等の意見が寄せられており、モノづくりを通して、芸術の重要性や国際交流の必要性を地域に伝える効果があったと考える。中でも特筆すべきは、70代以上の参加者からの反応である。</p> <p>「久しぶりに童心にかえり楽しいひと時を過ごすことができました」「認知症予防に最高」など、子ども達を主軸に据えた事業展開を実施しているが、孫や子と三世代で参加することで世代間交流を楽しむことはもちろんのこと、高齢者の居場所づくりとしての効果も得られた。</p>		

## 【事業実績】

浜田市世界子ども美術館において、浜田国際交流アートプロジェクトを実施した。

### ① ワークショップの開催 2018年10月30日(火)～11月11日(日) 計22回実施

建築美術館フラックセンター(フランス)、メキシコ自然史博物館(メキシコ)、ズーム子ども博物館(オーストリア)、スラドブナ・ピーセク子ども博物館(チェコ)より指導者を招き国際交流ワークショップを実施。

(PR用制作物) チラシ(A5版・カラー・モノクロ・5,500部) ※自己経費で制作

(参加者数) 1,094人



また国内外で広く活躍中の日本人アーティストによる様々な素材を用いたワークショップの実施。計7回実施

2018年8月19日(日)AM/PM本濃研太

2019年1月26日(土)・27日(日)PM小山一馬

2019年2月9日(土)・10日(日)PM木暮奈津子

2019年3月16日(土)・17日(日)樋口一成PM

(参加者数) 計418人



当館学芸スタッフが保育園や幼稚園に出張して行く、地域密着型の出張ワークショップの開催。計4回実施

2018年12月6日(木)・11日(火)・13日(木)

2019年2月19日(火) (参加者数) 計62人



以上のようなバラエティ豊かな活動を年間を通して実施した。

### ②国際ミニシンポジウムの開催 2018年11月4日(日)

フランス・メキシコ・オーストリア・チェコの子どもの対象とした活動を積極的に行っている施設の代表者による「子どもを対象としたアート活動の展開について」協議の場を設定。展望や課題等について意見を交わしあい、世界に発信することのできる美術館活動について話し合った。



### ③「ワークショップ作品展」の開催

2019年1月19日(土)～3月10日(日) ※会期を2つに分けて実施

①の各活動で生まれた作品群を展示発表した。本プロジェクトの取り組みを紹介するとともに、子ども達の表現の可能性と魅力、創出した造形作品を紹介した。

(参加人数) 3,974人

(制作物) チラシ(B5版・モノクロ・6,000枚) ※自己資金及び国庫金で作成



■上記すべての活動をまとめた成果物・活動の記録集(A5版・カラー20頁・1,000部)

■海外発信のためホームページの追加

HP <http://eng.hamada-kodomo-art.com/creative/01/index.html>

<http://eng.hamada-kodomo-art.com/creative/02/index.html>

### 【事業を振り返って】

大都市から離れた当市においては、このような交流事業の開催は“非日常”である。本事業の実施は、これからの国際社会に貢献する人材づくりに結びつく効果があったと考察する。それは目に見えるものでもなく数値化するのも困難であり、すぐに成果に結びつくものでもない。しかし、今後ますますグローバル化が進む社会において、小さなころから生きた国際交流、上質な芸術体験との出会いは、国際感覚の向上、多角的な価値観の獲得につながるはずである。外国との関係性を考えるきっかけが生まれると同時に、自分たちの住む地域の魅力や価値を発見することにつながる。本事業の実施は、これからの国際社会に貢献する人材づくりに結びつく効果が期待されるとともに、閉鎖的な環境にある地方に新鮮な風を届けることになる。地方の小さな美術館だからこそ敏捷性があり、かつ心のこもった先進的な取り組みをすることが可能である。アートを通し、地域に活力と刺激を与える効果が浜田に降り注がれたと確信している。